

人間総合科学研究群

Degree Programs in Comprehensive Human Sciences

人材養成目的

人間の心身及び諸活動に関する基礎から応用までの豊富かつ高度な教育研究を通して、固有の学問領域において高度でグローバルな視点に基づいた研究を計画実行でき、人間に関する幅広い知識をもち優れた学際的な学術研究や国際的かつ学際的な教育研究環境を背景に異分野の先端的な融合が図れる優れた学術研究を計画実行できる研究者と大学教員、及び複合的な視点から人間を捉え、柔軟かつ適切な援助・支援を研究・設計して社会的ニーズに対応できる高度専門職業人を養成する。

この目的を実現するために、本学術院は人間の諸活動を支える知識情報基盤について学際研究を行ってきた図書館情報メディア研究科と幅広い学問分野を教育の観点から総合的に捉える高度な教育者を養成してきた教育研究科を加えることで、幅広く多様な39の学位プログラムから一つの学術院・研究群を編成する。これにより、国際的かつ学際的な教育研究環境を背景とした知の先端的な融合と再生を図ることで「人間」に関する新たな知識体系を創造・構築することができ、同時に知識の活用や伝達において、より複合的な視点から多様な人間を捉え社会のニーズや地球規模の諸課題に対して幅広い知識や技能を統合的かつ高度なレベルで活用できる人材の養成が可能になる。

	研究群コンピテンス	評価の観点	対応する主な学修
修士	1. 研究力: 人間総合科学分野における研究課題設定と研究計画を遂行するための基礎的な知識と能力	①人間の心身及び諸活動に関わる専門分野の先行研究の検討から適切な研究課題の設定ができるか ②人間の心身及び諸活動に関わる現代の研究課題をグローバルな視点から指摘できるか	各専攻分野での演習, 各研究法, インターンシップ科目, 公開研究会への参加, 学会発表など
	2. 専門知識: 人間総合科学分野における高度な専門知識と運用能力	①研究の対象やフィールドを適切な方法で探究するための専門知識を身につけているか ②当該分野の研究に必要な知識・技能を積極的に吸収・活用しようとする意欲があるか	各専攻分野での特講, 各研究法, 修士論文(特定課題研究報告書)作成
	3. 倫理観: 人間総合科学分野の基礎的研究能力を有する人材または高度専門職業人にふさわしい倫理観と倫理的知識	①人間を対象とする研究課題に対し、適切な研究方法の選択ができるか ②人間の心身及び諸活動に関する倫理的側面に十分な注意を向けて研究を進められるか	各専攻分野での演習, 各研究法, 修士論文(特定課題研究報告書)作成
博士	1. 研究力: 人間総合科学分野における最新の専門知識に基づいて先端的な研究課題を設定し、自立して研究計画を遂行できる能力	①人間の心身及び諸活動に関わる専門分野の先行研究を踏まえて、未来に資する本質的な研究課題を設定できるか ②設定した先端的な課題の解決に相応しい研究方法を用いて、独創的な研究成果を産み出しているか	各専攻分野での特講, 演習, 各研究方法論, 国外の大学との交流活動, 博士論文中間発表会, 国際学会発表, 英語論文投稿など
	2. 専門知識: 人間総合科学分野における先端的かつ高度な専門知識と運用能力	①当該分野の先端的で高度な専門知識を運用できる能力を十分身につけているか ②当該分野の最新の専門知識に裏付けられた独創的な課題を新規に発見したか	各専攻分野での特講, 演習, 各研究方法論, 投稿形式論文発表会, 博士論文中間研究発表会など
	3. 倫理観: 人間総合科学分野の研究者または高度専門職業人にふさわしい倫理観と倫理的知識、および専攻する特定の分野に関する深い倫理的知識	①研究に関わる知的財産や情報の安全を守る知識を十分に持っているか ②当該分野に必要な不可欠な倫理観と知的財産や情報の安全を守る知識を説明できるか	各専攻分野での演習, 各研究方法論, 投稿形式論文発表会, 博士論文中間研究発表会など